

平成 25 年度 金融相談等活動助成報告会の開催

ゆうちょ財団主催の「平成 25 年度 金融相談等活動助成報告会」が、平成 25 年 11 月 29 日（金）、メルパーク東京（東京・港区）で開催され、NPO 法人の団体等、多くの方にお集まりいただきました。

金融相談等活動助成報告会は、ゆうちょ財団の金融相談等活動助成事業の助成を受けて実施している活動報告を通して、多くの皆様に事業内容を理解していただくとともに、同様の活動を実施している団体間の交流やコミュニケーションを深めることを目的としており、今回で 2 回目の開催となります。

報告会は 2 部構成で行われ、第 1 部の「活動報告会」は、東京都社会保険労務士会所属の社会保険労務士が中心となって活動している「街角年金塾」と、神奈川県を中心に活動している FP の団体である「FP ネットワーク 神奈川」の 2 団体からご報告をいただきました。

街角年金塾の活動は、団体名のとおり、東京・渋谷、新宿の繁華街での“街角年金相談会”です。相談会当日のチラシ入りティッシュ配りから、相談員お揃いのウインドブレーカーを着ての相談対応など、相談会の運営方法を中心にご紹介いただきました。

FP ネットワーク 神奈川からは、セミナーの開催についてご報告をいただきました。セミナーの周知方法や集客の苦勞など、同様の活動を実施している団体にも共感できる場面も多かったものと思います。



第1部ではこのほか、ゆうちょ財団の相談活動と金融教育活動についての報告と、「平成26年度 金融相談等活動助成募集要項」の説明のあと、特別講演が行われました。

特別講演は、「陸前高田被災地語り部 くぎこ屋」の釘子明様より、東日本大震災の被災者から見た防災の重要性についてお話をいただきました。被災者が自らの体験と、震災前と後の映像・写真などを交えて語る震災の実態は、参加者に大きなインパクトを与えたことと思われます。

「災害は他人事ではなく、いつ自分自身に降りかかってくるか分からない。そのための備えを十分にしておいてほしい。」という釘子様の悲痛の叫びは、参加者の心に響いたようです。



引き続いての第2部の「交流会」では、各団体が意見や情報の交換などを行う場面が多く見られ、有意義な時間となりました。

平成26年度活動助成の募集締切りは、平成26年1月31日となっています。来年度も、多くの有意義な活動を期待しています。